

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 規則正しい生活習慣と学習習慣の確立
- 学習のねらいが明確な授業の展開
- 児童に「できた」を味わわせる授業の推進

＜本年度の学力向上策＞

- 1 規則正しい生活習慣と学習習慣の確立
 - (1) 「東宮下小よい子のきまり」を中心に、学力向上の基盤となる学校内共通の授業規律を教職員が共通理解・共通行動で徹底する。
 - (2) 「東宮下小よい子のきまり」の内容を家庭へ周知し、家庭と連携して、児童の規則正しい生活習慣の確立を目指す。
 - (3) 業前活動として、基礎学力の定着を図る活動や認知機能を向上させる活動を実施し、よりよい学習習慣と学力の定着を目指す。
- 2 学習のねらいが明確な授業の展開
 - (1) 学習のねらいを明確にした授業の発問と板書を研究する。
 - (2) 各教員が年1回の研究授業を実施する。
 - (3) 学習の振り返りでねらいを確認し、児童自身に身に付いた力を実感させる。
- 3 児童に「できた」を味わわせる授業の推進
 - (1) 学習の中で練習問題に取り組み、学習内容を定着させる。
 - (2) 児童が考えを交流する場を設け、互いに考えを認め合う機会をつくる。
 - (3) 学習の振り返りを通して、自分の成長を実感できる機会をつくる。

＜本年度の振り返り＞

- 1 朝会等の学校行事に児童が5分前に集合を完了するなど、「東宮下小よい子のきまり」に基づく児童の規範意識向上に努めることができた。また、児童会を中心とした「あいさつ王決定戦」や七里中学校と連携したあいさつの指導を進め、児童のあいさつに対する意識を高めることができた。
- 2 各教員が研究授業を実施し、教科指導力の向上を図ることができた。学習のねらいが明確な授業を展開することで、児童により多くの「できた」を味わわせることができた。
- 3 授業においてプリントやドリルなどを活用し、学習した内容を練習する機会を設けることで、学習内容の定着を図ることができた。また、学習の振り返りを通して児童自ら学習進度を実感し、新しい学びに対する関心・意欲を高めることができた。